



この二次元コードは、この説明書の識別用のものです。

CITIZEN

取扱説明書

保証書付

シチズン電子体温計 CTE53シリーズ
わき専用予測式(約30秒)＋実測式
CTE532

- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。
- 取扱説明書および電子化された医療機器添付文書に従わない使用がなされた場合および勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。
- 本製品は、測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する装置です。

この表示の欄は人が傷害を負ったり物的損害が想定される内容ですので、ご注意ください。

安全上のお願ひ

ご使用前に、必ずお読みください。

- 危険** 人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危険が想定される場合
- 警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合
- 注意** 人が傷害を負ったり、物的損害*の発生する可能性が想定される場合

*物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

危険

- 電池を飲み込んだ場合には、化学やけど、粘膜の貫通など、死に至ることがあり、直ちに取らなければならないため、すぐに医師の指示に従ってください。**
- 電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
→誤飲のおそれがあります。

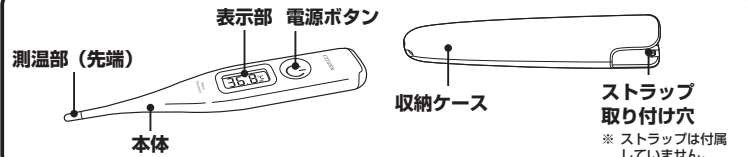
警告

- 検温結果の自己判断、および治療は危険です。**
→自己判断は、病気の悪化につながるおそれがあります。
- 電池、電池ケースなどお子様が飲み込まないように充分注意してください。**
誤って電池、電池ケースなどを飲み込んでしまった場合、あるいは飲み込んだおそれがある場合は、医師に連絡し、指示を受けてください。
→けがなどの原因になります。
- 電池の液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流して、医師の治療を受けてください。**
→けがなどの原因になります。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。**
→事故や故障の原因になります。
- お子様だけで使わせないでください。**
→事故や故障の原因になります。
- 測温部(先端)をかまないでください。**
→事故や故障の原因になります。
- 測温部(先端)で目を突かないようにしてください。**
→けがなどの原因になります。

注意

- 体温計を修理、改造、分解しないでください。**
→事故や故障の原因になります。
- 測温部(先端)を持って振ったりしないでください。**
→事故や故障の原因になります。
- 人の体温測定以外には使用しないでください。**
→故障の原因になります。
- 携帯電話などの近くで使用したり、強い静電気や電磁波、磁石などに近づけたりしないでください。**
→誤作動をおこすおそれがあります。
- 高温や直射日光の当たるところ、湿気の多いところ、ほこりの多いところ、腐食性のガスが発生する場所などでの保管は避けてください。**
→事故や故障の原因になります。
- 水中に放置したり、水道からの流水に直接あてないでください。**
- 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。**
→故障の原因となります。
- 電池の＋の向きを間違えないようにしてください。**
→漏液、発熱、破裂などおこし、本体が破損する原因になります。

各部のなまえ



本製品の仕様

販売名	シチズン電子体温計 CTE53 シリーズ	電池寿命	予測検温：約 2,000 回 実測検温：約 700 回
型式	CTE532	付加機能	メモリー機能、電源自動 OFF、バックライト
種類	電子体温計 予測式 一般用 防浸形	耐用期間	5 年 [自己認証 (当社データ) による]
分類	内部電源機器・BF 形装着部 (木)	使用環境	周囲温度：10 ～ 40℃ 相対湿度：30 ～ 85%RH
検温部位	わき下	保管条件	周囲温度：－ 20 ～ 60℃ 相対湿度：95%RH 以下
定格および電源	DC 3.0V CR1220 タイプ相当 1 個	寸法	約 22.6 mm (幅) × 約 136.0 mm (長さ) × 約 11.4 mm (厚さ)
消費電力	約 1.6mW	質量	約 15 g (電池含む)
測温範囲	32.0℃ ～ 42.0℃	付属品	収納ケース、モニター用電池 (内蔵)、取扱説明書／保証書
最大許容誤差	± 0.1℃ (恒温水槽で実測測定した場合)		
体温表示	数字 3 桁 +℃、表示単位 0.1℃		
防水性	IPX7、JIS T 1140 による (防浸形)		

※電子化された医療機器添付文書および EMD 技術資料は弊社ホームページのダウンロード一覧をご覧ください。
<https://www.citizen-systems.co.jp/health/support/download/>
 ※本製品、および取り出した古い電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールにもとづいて正しく処理してください。
 ※本製品は EMD 規格 IEC 60601-1-2: 2014 + A1:2020 に適合しています。
 ※本製品は JIS T 1140 に適合しています。
 ※本製品は改良のため、予告なしに仕様変更する事があります。
 ※IPX7 とは、IEC60529 によって規定された水に対する保護を示しており、1m の深さに 30 分間浸漬させても有害な影響を生じる量の水が製品内に侵入されないように保護されています。

故障を発見した場合はただちに使用を中止し、分解せず、 受付時間：10 ～ 17 時
販売店または弊社お客様相談室にお問合せください。 月～金（祝祭日、年末年始を除く）

シチズン・システムズ株式会社 0120-88-6295
お客様相談室 通話料金は無料です。

E-mail: support@systems.citizen.co.jp

<https://csj.citizen.co.jp>

CITIZEN、健康予約はシチズン時計株式会社の登録商標です。
 ※本製品ならびに本サービスに記載されている会社名、商品・サービス名は、一般に各社の商標または登録商標です。

保証規定

次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。

- ・誤ったご使用またはお取り扱いによる故障または損傷。
- ・保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
- ・火災、地震、水害その他の天災地変や、異常電圧、指定以外の電源、衝撃などによる故障または損傷。
- ・保証書のご提示が無い場合。
- ・保証書のお買い上げ日、販売店名などの記載に不備がある場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ・ご使用後の外装面のキズ、破損、外装部品、付属品、消耗品などの交換。
- ※お買い上げの販売店にご持参いただく場合の諸費用や弊社にご送付いただく場合の送料などは、お客様の負担となります。
- ・保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。
- ・本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証書

CITIZEN

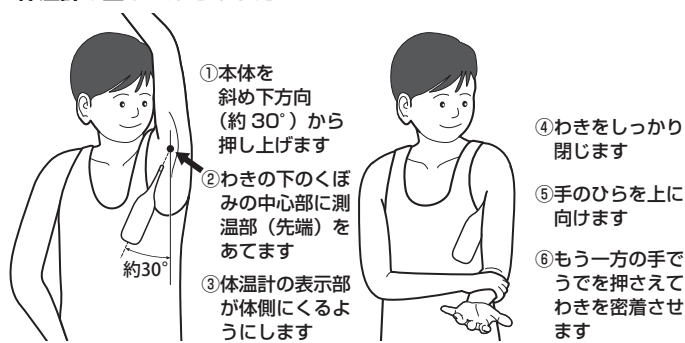
本書は、お客様が取扱説明書に従って正しく使用したにもかかわらず、万一故障した場合、本保証規定に従ってお買い上げ後 1 年間は無料修理をおこなうことをお約束するものです。お客様に記入いただきました本保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型 式	CTE532		
お 名 前	様	TEL	— —
ご 住 所	〒		
※以下につきましては、必ず販売店にてご記入、ご捺印をお願いいたします。			
お買い上げ日	年	月	日
販売店名および住所			
保証期間	お買い上げ日より1年間		
製造販売元	シチズン・システムズ株式会社 〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12		

検査証：本製品は弊社の定められた検査に合格しております。

2401

体温計の正しいはさみかた



体温の測りかた

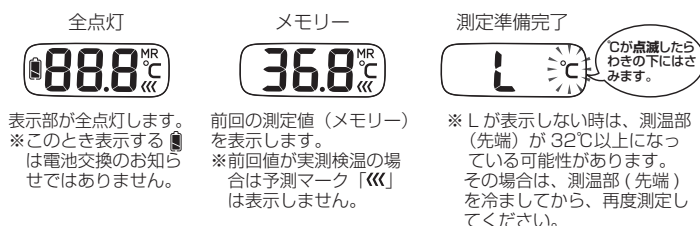
1 電源を入れます。

体温計を収納ケースから取り出し、電源ボタンを押します。バックライトが約3秒間点灯します。
※購入後、初めて使用するときに表示される前回値（メモリー）は製品検査時の値で、異常値ではありません。



正しく測るために

- 測る前に、わきの下の汗を乾いたタオルなどで軽く拭き取ってください。

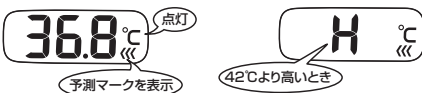


2 わきの下にはさみ体温を測定します。

わきの下のくぼみの中心部に体温計の測温部（先端）があたるように、斜め下方向（30°）からはさんでわきをしっかりと閉じます。予測検温中は、予測マーク「H」を表示します。約30秒で予測検温が完了します。℃が点滅から点灯へ変わり、ブザーが「ピポピポ、ピポピポピポ」と2回鳴ったら取り出します。



- お子様の体温を測るときは、腕の外側から優しく押さえてください。



実測検温するとき
予測検温のあと、体温計を取り出さずに検温を続けます。検温開始から約3分後に実測表示に切り替わります。約10分後にブザーが「ピポピポ、ピポピポピポ」と2回鳴り、実測検温が完了します。予測/実測検温が終了するとバックライトが約3秒間点灯します。

- ※測定完了後に再度測定する場合は、測温部（先端）を冷ましてからご使用ください。
- ※冬季など体温計が冷えている場合、体温計を周囲温度になじませてから再度測定してください。
- ※低温環境で測定した場合、測定完了までの時間が長くなる場合があります。

3 電源を切り本体を収納ケースに入れます。

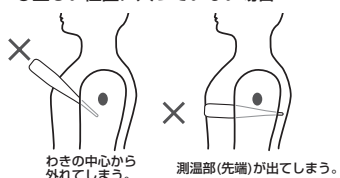
電源ボタンを押して電源を切ります。バックライトが約2秒間点灯します。
●電源を切り忘れても、約20分後に自動的に電源が切れます。



こんなときは正しく測れません

- 入浴・運動・飲食直後など
入浴、運動、飲食、お茶などのあとは体温が上がっています。約30分間は検温を避けてください。
- わきの下以外での検温
本製品はわき専用です。わきの下以外（口など）で使用しないでください。
- 正しい位置に入っていない場合

- 汗をかいた状態
汗でぬれていると実際よりも低い体温を示すことがあります。汗をかいたままの検温は避けてください。測る前に、わきの下の汗を乾いたタオルなどで軽く拭き取ってください。
- 起床直後
起床直後に動いた場合は、比較的激しく体温が上昇しますので、検温は避けてください。起床直後に検温する場合は、動き出す前の安静時か30分以上経ってから測定してください。
- 検温中に動く
検温中に動くと正しく測定できません。検温中は安静にしてください。



体温ワンポイントメモ

●いつもより検温値が高いとき：3～5分程度の実測検温値と比べていませんか？ 予測検温値はわきを閉じてからわきの下が十分に温まる10分後の温度（平衡温）を予測して表示します。●人の体温：大人の平熱は36.8℃程度で、幼児は大人より高めの体温と言われています。また、1日の中での体温の変動も大きくなっています。ふだんの検温で平熱の範囲を確認しておきましょう。●検温はわきの下の正しい位置で：検温値はわきのさはむ位置で異なりますので、常にわきの下の正しい位置で測定してください。（「体温計の正しいはさみかた」を参照してください。）●平熱を知っておきましょう：平熱は個人差もあるのでふだんから検温を心がけ、元気なときの体温を知っておきましょう。

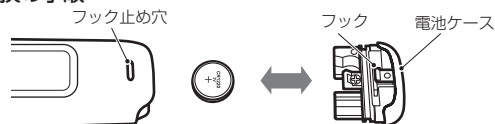
測定ができない時は

故障と疑われる場合には、まず下記の項目について点検をお願いします。それでも正常に作動しないときは、保証規定をお読みの上、修理・サービスをお申しつけください。

こんなとき	点検するところ	直しかた
電源ボタンを押しても何も表示しない	電池が正しく入っていますか？ 電池が消耗していませんか？	“電池交換の方法と注意”を参照して、正しく入れなおしてください。 新しい電池に交換してください。
Er.1	●測温部（先端）がわきの下から外れていませんか？	一度電源を切った後、再度測定してください。測定中は体温計が動かないようにしてください。
Er.2	●測定前の周囲温度が高くなりませんか？ ●連続して測定していませんか？ ●℃が点滅する前にわきの下にはさんでいませんか？	測温部（先端）を冷ましてから、本取扱説明書の操作方法に従い、再度測定してください。
Er.3	センサー回路の断線などで計測回路に異常があった場合	弊社お客様相談室にご相談ください。

電池交換の方法と注意

電池交換の手順



- ①体温計本体裏面のフック止め穴に小さなマイナスドライバーなどを入れ、電池ケース側に押しながら電池ケースを引きぬいてください。
- ②電池を取り外してください。
- ③電池ケースの⊕側に電池の⊕側を合わせてください。電池の⊕、⊖に気をつけて新しい電池をセットしてください。
- ④電池ケースの上下に注意して、押し込んでください。

※電池の方向を間違えて組み込むと故障の原因となります。

電池交換の注意

⚠ 電池および電池ケースなどはお子様などがけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。万一電池を飲み込んだ場合には、化学やけど、粘膜の貫通など、死に至ることがあり、直ちに取っ払う必要があるため、すぐに医師の指示に従ってください。

- ℃が点滅したら、お早めに交換してください。℃が点灯すると、検温ができなくなります。
- 電池はCR1220です。なお、付属の電池はモニター用（機能確認用）ですので電池寿命が短い場合があります。
- 使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。
- 長期間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。

お手入れ上の注意

- 測温部（先端）を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼなどで軽く拭いてください。また、測温部（先端）を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯（50℃を超えるお湯）で消毒しないでください。故障の原因になります。なお、表示部およびその周囲は、消毒用アルコールを含ませたガーゼなどで拭かないでください。表示部の曇りの原因になります。
 - ご使用後は必ず清潔にして（水分をよく拭き取って）付属の収納ケースに保管してください。
 - 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩、クロルヘキシジン、グルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウムなどは絶対に使わないでください。変色、変質、変形や故障の原因になります。
 - イソプロパノールやエタノールに長時間（およそ30分以上）浸漬させた場合、体温計が変形する可能性があります。
 - 超音波洗浄はしないでください。故障の原因になります。
 - 水洗いをおこなう場合は、洗面器等に貯めた水に体温計を浸してから、汚れを拭き取るようにしてください。
- 本品は、IPX7 および JIS T 1140 に準じた防浸規格に適合しておりますが、本規格では流水などの高い水圧や、長時間の浸漬については保証されていません。